

病虫害発生予察情報

7 月月報

平成 21 年 8 月 14 日
東京都病虫害防除所

1 気象概況

2009 年 7 月	気 温 ()						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	27.4	0.4	21.7	1.9	24.3	1.1	14	22	15.2	41
中旬	29.2	-1.2	22.7	0.0	25.4	-0.7	71	115	36.1	54
下旬	31.2	3.1	22.3	1.1	26.9	2.6	12	24	39.0	115
平均	29.2	0.7	22.3	1.1	25.5	1.0				
合計							97	56	90.3	64

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979～2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上・下旬は高く、中旬はやや低かった。

降 水 量：上・下旬は少なく、中旬は平年並みであった。

日照時間：上・下旬は平年少なく、中旬は平年並みであった。

<天候概況>

上旬：初めから中ごろまで梅雨前線が本州付近に停滞しその後は南から湿った気流が流れ込んだため、曇りや雨の日が多かった。

中旬：11日から13日は梅雨前線の影響で曇りとなった。その後は晴れる日もあったが、梅雨前線南下の影響で曇りや雨も多かった。関東甲信地方は7月14日ごろ梅雨明けしたと見られる。

下旬：前線や南よりの湿った気流の影響により曇りや雨の日が多かった。

2 作物生育概況

(1)イネ

生育は概ね平年並であったが、一部では生育の遅れが見られた。いもち病は平野部ではやや多く、山間部では多かった。ウンカ類および斑点米カメムシ類の発生は少なかった。

(2)サツマイモ

生育はほぼ順調である。

(3)野菜

果菜類：トマトの生育は概ね順調である。露地キュウリは中下旬には収穫が終わったが、生育ははやや徒長傾向であった。ナスは日照不足の影響で、樹勢が弱くなり、収量がやや減少する傾向がみられた。スイートコーンの生育は順調である。

葉根菜類：コマツナは概ね順調であるが、一部で株の太りがやや悪い傾向にあった。ブロッコリー等の苗の生育は、一部は高温の影響のためやや不良であった。ニンジンについては降雨もあり、発芽は良く、順調である。

イモ類:サトイモは概ね順調である。

(4)果樹

ナシ：農総研の果樹圃場（灰色低地土）におけるナシ「あけみず」の収穫始めは、例年より早く、7月21日（平年比-9.9日）となった。

(5)茶 樹

生育は順調であった。

3 病虫害の発生概況

(1) イネの病虫害

いもち病（平野部）	< やや多 >	発生はやや多かった。
いもち病（山間部）	< 多 >	発生は多かった。
紋枯病	< 少 >	発生は少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病虫害

ナ シ

黒星病	< 並 >	発生は平年並であった。
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
果樹共通		
チャパネアオカメムシ	< 少 >	果樹園への飛来は少なかった。 フェロモントラップと予察灯の誘殺数はやや多かった。
クサギカメムシ	< 少 >	果樹園への飛来は少なかった。 予察灯誘殺数は多かった。

(3) 茶樹の病虫害

カンザワハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホソガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ナガチャコガネ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病虫害

トマト

モザイク病	< やや多 >	発生はやや多かった。
葉かび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
白ぶくれ症	< やや多 >	発生はやや多かった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

キュウリ		
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< やや多 >	発生はやや多かった。
斑点細菌病	< 並 >	発生は平年並であった。
つる割病	< 並 >	発生は平年並であった。
ナ ス		
うどんこ病	< やや多 >	発生はやや多かった。
半身萎凋病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
エダマメ		
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ダイズサヤタマバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ダイズサヤムシガ	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
白さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
炭疽病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キスジノミハムシ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネ ギ		
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギアザミウマ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
(5) 花きの病害虫		
シクラメン		
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
花き共通の病害虫		
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
(6) 植木の病害虫		
街路樹など		
チャドクガ	< 少 >	発生は少なかった。
トチノキヒメヨコバイ	< やや多 >	発生はやや多かった。
プラタナスグンバイ	< やや多 >	発生はやや多かった。
		この数年間、多発の状況が継続している。

(7) 島しょの病害虫

八丈島:切葉類のレザーファンでコガネムシ類、ルスカスでアザミウマ類、野菜類のアシタバで軟腐病および葉腐病、オクラでアブラムシ類の発生が多かった。

他の地域では多発生の病害虫は報告されなかった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	7月9日	8月10日	0	0
大田市場	7月9日	8月10日	0	0
板橋市場	7月9日	8月10日	0	0
淀橋市場	7月9日	8月10日	0	0
足立青果市場	7月9日	8月10日	0	0
小平青果市場	7月7日	8月11日	0	0
八王子北野市場	7月7日	8月11日	0	0
昭島市場	7月7日	8月11日	0	0
国立市場	7月7日	8月11日	0	0
東久留米市場	7月7日	8月11日	0	0

テレフォンサービス

0 4 2 (5 2 5) 8 4 0 7

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jpnp.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報，発生状況，防除方法
などをお知らせしています。